



Image Credit: NASA

球状コンクリーションの不思議

球状コンクリーションは、シリカ、鉄、カルシウム等を主成分とする丸く、硬い岩塊である。とくにカルシウムを主成分とするものは保存良好の化石を含むことが多い。その存在は1世紀以上も前から知られていたものの、なぜ丸いのか、なぜ化石が内包されるのかなどその成因は明らかではなかった。また近年、火星の地層からも球状コンクリーションが発見された。講演では、それらの成因とコンクリーション化プロセスを工学的に応用する試みの最新知見について紹介する。



講師

名古屋大学博物館 館長
教授（応用地質学）

吉田 英一 さん

1986年名古屋大学大学院理学研究科博士課程（前期課程）地球科学専攻修了。理学博士。
2000年名古屋大学博物館助教授（大学院理学研究科兼任）、
2007年同上博物館准教授（大学院環境学研究科兼任）、
2010年同上博物館館長などを経て現職。
全国大学博物館等協議会会長、日本博物科学会会長、応用地質学会理事、資源エネルギー庁総合資源エネルギー調査会（放射性廃棄物）委員などを歴任。
近著に「球状コンクリーションの科学」（近未来社）他。

Image Credit: NASA/JPL-Caltech/ASU

申込不要です
当日ご自宅などからご自由に視聴いただけます

通信にかかる費用はお客様のご負担になります。Wifi環境でのご視聴をお勧めします。
詳細ページ <https://www.city.gamagori.lg.jp/site/kagakukan/geology2022.html>

YouTube 生命の海科学館



詳細ページ

地球46億年、あなたにつながるストーリー

蒲郡市生命の海科学館

がまごおりしいのちのうみかがくかん

〒443-0034 愛知県蒲郡市港町17番17号

開館時間：9時～17時（最終入館は16時30分）

お問い合わせ

0533-66-1717